

事務事業名		伊那谷自然資料調査研究事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	1	終了		
H27担当課等名		美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名		学芸係						
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
		施策	61	地域資源の発見・資産化											
目的	対象(誰・何を)	1 伊那谷を中心とした自然										対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	1 自然の中から収集した資料は、調査・整理し保存する											伊那谷(飯田下伊那および上伊那)の面積(平方キロメートル)		3277.47
	向上させたい上位施策の成果指標	見出された地域資源の数(累計)													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	年度内に収集した資料の数			300	310	300	300							
	成果指標	整理・登録した資料の総数(登録資料点数)			73600	77188	100188	101188							
	定性目標														
事業概要	<p>1 本事業は飯田市美術博物館において、伊那谷の自然に関する資料および情報の継続的な収集、整理、研究活動を行う。</p> <p>2 その中には、地域の自然を研究対象としている研究者への支援と成果を発表する印刷物発行事業を含む。</p> <p>3 コレクションを受入れ整理し、保存する。</p>														
事業内容					名称					活動指標					
26年度事業内容	1 伊那谷の自然史に関する調査・研究、資料整理を実施し、成果を企画展や教育普及活動で利用する					1 野外でののべ調査日数					1 125日				
	2 未整理未登録資料のマウントと登録、寄贈コレクションの整理登録を推進する					2 登録資料数					2 4,020点				
	3 地域研究者(団体)への研究支援を行う					3 地域史研究協力者(団体)数					3 10人				
	4 大学、研究所、学会など研究機関との連携した研究を実施する					4 研究機関との連携数					4 6件				
	5 伊那谷自然史論集を発行する					5 自然史論集掲載論文数					5 7本				
	6 学会大会などに参加し、研究発表をおこなう					6 学会等研究発表回数					6 7回				
	7 寺平火山灰コレクションの寄贈受入					7 寺平コレクションの資料点数					7 未受入れ				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		9,464	9,287	8,426	8,786	[25特定財源](そ) 諸収入 [26特定財源](そ) 諸収入 [27特定財源](そ) 諸収入									
国庫支出金															
県支出金															
起債															
その他		847	491	491	466										
一般財源		8,617	8,796	7,935	8,320										
人件費計(千円)②		2,861		0											
正規職員所要時間		800													
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		12,325	9,287	8,426	8,786										
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成26年度は地域史研究事業の内容見直しをおこない、資料情報の蓄積機能を強化した。地域史研究事業の一環として資料整理を進めたため、登録資料件数が当初予定の4倍となった。														
改革改善の考え方	①問題点	慢性的な収蔵スペースの不足。展示や講座など教育普及活動へのウエイトが大きくなり、調査研究事業はやや停滞気味である。													
	②改革提案	収蔵スペースの確保について、常設展示の更新も絡めて具体的な解決策を検討する。事業内容のバランスを見直し、地域史研究事業を軸とした研究活動の活性化を図る。													